



公明党
三上 裕久
議員

鈴木副市長の基本姿勢について

質問 滝川市の可能性とそのことを具現化できる期限を伺う。

答弁 基幹産業の農業を強くして食品加工や食品産業に可能性を見出していききたい。また、滝川は様々な新しいものを外から受け入れる柔軟性のあるまちだと思っているので、メガソーラー等の新事業体の受け入れにも可能性があります。3年間いただいて目に見える成果を出したい。

公明党が推進する防災・減災 ニューディール政策について

質問 公明党の防災・減災ニューディール政策は、当市にとってどのような効果を及ぼすと市長は考えるか。

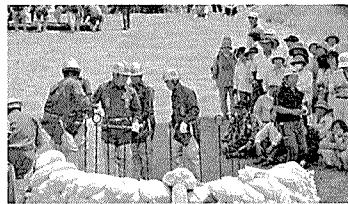
答弁 この政策は、インフラ整備のための公共事業により、失業者を減らし、景気を回復させるものと聞いています。
地域の安全・安心という命を守る

る政策は重要と考えます。この政策が実現され、地域を活性化する筋道となることを期待します。

防災教育について

質問 日頃の防災教育は、東日本大震災以来、重要性を増してきているが、学校現場での現状を伺う。

答弁 家庭や地域と連携を図り、発達段階に応じた指導の充実が求められています。各学校では、様々な場面を想定した避難訓練を年2回程度実施しています。



通学路の安全確保について

質問 通学中の児童の列に車が突っ込むという事故・事件が各地で発生しているが、当市における通学路の安全確保の現状を伺う。

答弁 各学校で通学路の安全点検を地域・PTAの皆さんのご協力もいただき年に2回以上点検しています。危険箇所があった際は、開発局・警察など関係機関に改善要望をしています。



新政会
山口 清悦
議員

地方公営企業会計制度の見直し

質問 今年1月に総務省が発表した地方公営企業会計制度の見直しは、借入資本金の負債計上や短期債務の流動負債計上など多岐にわたるが、財政健全化比率等に悪影響はないか伺う。

答弁 基準の見直しにより企業会計自体は従来と変わりがないにもかかわらず貸借対照表上の負債が増加する事になり、特に流動負債が増加しますと財政健全化比率の指標が悪化することになります。指標悪化を防ぐための調整をすることになっています。また、現在病院会計・下水道会計とも資金不足は発生しておらず、制度見直しによる資金不足も発生しないと見込んでいます。

障がい者福祉について

質問 今後の障がい者支援事業は、障がい者の生活行動圏を基に行い、そのためには自治体の枠を超えて

中空知近隣市町と連携していくべきと考えるが市長の見解を伺う。

答弁 私も指摘の通りだと考えます。
当市には障がい者を対象とする入所施設が無く、様々なサービスを提供するには事業者等と連携した体制の構築が不可欠であると考えます。

現在策定中の中空知圏域ビジョンに基づいて障がい福祉計画の円滑な推進を図りたいと思います。

再質問 そらぶちキッズキャンプのあるまち滝川は障がい者に優しいということをキーワードとして今後のまちづくりをするべきと思うがいかがか。

再答弁 私（市長）も同感です。そらぶちキッズキャンプのあるまちとして今後も人に優しいまちづくりを目指していくので山口議員にも協力をして欲しいと思います。



▲そらぶちキッズキャンプ